

口の中に溜まっている
飲み込みにくそう

食べる量が
減った

食べるのに
時間がかかる

痩せてきた

施設入所者で
摂食嚥下機能に
お困りの方へ

食事介助中の変化に
気づくことはありませんか？

食事中・食後
にむせる

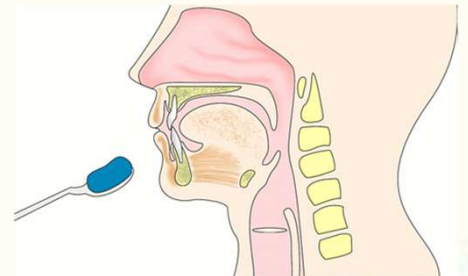
食後、ガラガラ
声になる

対象者：
重症心身障害、知的障害等
の障害者施設入所者

嚥下造影（VF）検査で
(Video Fluoroscopic examination of swallowing)
食事場面の評価ができます

検査日時
第4木曜日
昼食時

嚥下造影検査では、造影剤を含んだ食事を（当院では、普段施設や家庭で食べておられる食事をそのまま使用し検査します）X線透視下で食べていただき、食べ物を口から胃へ送り込む一連の動作の中で、どの部分に障害があるか、また、誤嚥（気管に食べ物が入ってしまう状態）の有無など様子がわかります。



検査中は、施設スタッフやご家族に実際の普段の介助をしてもらいながら進めていきます。入所者さんも緊張が少なく検査を受けることができますと思います。

検査の結果から、**食形態の検討**や、**食事姿勢の調整**、**摂取方法の検討**をおこなうことで、安全に食事を続けられ、誤嚥による発熱、誤嚥性肺炎等の予防につなげるように支援しています。



お気軽にご相談・お問い合わせください。（詳細は次ページ）

嚥下造影（VF）検査の流れ ※日帰り検査入院

① 地域医療連携室へ連絡

電話にてご相談のうえ、以下のシートを記入し、郵送またはFAXで送付してください

- ・摂食機能情報シート
- ・転倒・転落リスク/褥瘡に関する質問シート

② 当院からの連絡・書類送付

摂食・嚥下障害看護認定看護師が内容を確認し、連絡します
検査準備物の確認を行い、検査当日必要書類一式を施設へ郵送します

③ 検査日程の調整

施設と当院で調整し、VF検査の日程を決定します

④ 検査当日の対応

必要書類一式を、事前にご家族へお渡し、当日ご持参ください
検査当日は、11時45分までに受付が必要です
外来受診時に、ご家族へ検査説明を行い、同意書を取得します

⑤ 検査結果の共有

検査当日に口頭で概要説明を行います
後日、詳細な報告書を施設宛に郵送します

多職種連携について

医師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、作業療法士、管理栄養士、放射線技師が連携し、評価・助言を行います

お問い合わせ窓口

NHO富山病院 地域医療連携室

〒939-2692 富山市婦中町新町3145

☎ 076-413-5001

Fax 076-469-3963